

THE ROAD TO SUCCESS

11月号

平成28年11月1日(火)発行

桃李学園本部事務局
〒501-0461
岐阜県本巣市上真桑 1870
TEL : 058-324-1191(代)
FAX : 058-324-0347
URL : <http://www.tesacademy.jp>

塾長コラム

とうり
桃李学園 塾長 福田 洋

高校3年間の意義と高校の受験予備校化

最近、私は、何校か私立高校の学校説明会へ参加しました。いずれも岐阜県下ですばらしい実績と歴史を持つ私立高校です。

学校説明会では、次年度の募集要項等の変更点の説明が中心なのですが、学校説明の中心は進学実績でした。高等学校がまず第一義的に大学受験勉強の期間と位置づけられがちなのは、私立高校は公立高校以上に、生徒確保という問題がありますから、当然だとは思いますが、しかし、高校時代は単なる大学への移行期間に過ぎないのでは、残念な気がすることは否めません。

かつては大学に教養課程があった

大学は、かつては1年と2年を「教養課程」と称して、一般教養を学習していました。私の大学生時代は、「教養課程」では、理学部や工学部の学生にも、「史学通論」や「日本の古典文学」などいわゆる文系教科の講義が行



われました。高校生時代と同じような科目が並んでいました。内容がやや高度になるだけでした。

ところがやがて専門課程で学習する内容が増加してきたため、教養時代はなくなりました。その変化は私立大学から始ま

り、1年生から専門科目を学習するようになってきました。教養課程と専門課程の区別がなくなっていました。

そうなりますと、一般教養を学ぶのは高校時代のみとなってしまいます。将来、法律や経済に進む学生にも、数学や物理の基礎を学び、また理学部や工学部農学部で学ぶ学生に、文学や歴史など学ぶ機会は高校時代しかなくなっています。

高校時代に広く教養を学ぶ

だから一層高校時代にじっくりとあらゆる教科を学ぶことが重要だと考えています。将来役に立つからです。「ロマンチック・アイロニー」という言葉が、夏目漱石の「三四郎」の中に書かれています。「三四郎」という小説は、ロマンチック・アイロニーそのものといえるかもしれません。僕の一番好きな言葉の一つです。高校時代は余裕があるのが理想です。そのぶらぶらしているともいえる余裕のことをロマンチックアイロニーというのです。

高校時代は一生でも一番良い時期の一つです。この時期こそ大学準備だけでなく、広く教養を身につけてほしいと思います。そして一方で集中して受験勉強をする、それが私の理想とする高校時代です。

保護者の方へのお願い

私たちは、保護者様とのコミュニケーションの「パイプ」をもっと増加させ、かつ生かしていきたいと願っています。パイプとはFAXによるものです。記名されても無記名でもかまいません。意見やご指摘、ご要望何でも結構です。ご意見やご指摘などお気づきの点がございましたら、下記のFAXまでお送り下さい。記名されておりました場合はすぐにご返答いたします。

私たちは、この塾をなお一層すばらしいもの、県下一の塾にしていきたいと職員一同真剣に願っております。そのためは、現在当塾にお子様をお預かりしている保護者の皆様のご支援が私たちの唯一最大の希望です。

FAX 送信先 058-324-0347

センター試験まで、あと72日

模擬テストや推薦入試もあるこの時期は、あわただしくなるので、体調管理をしっかりし、風邪をひかないようにしよう。12月3週目からは冬期講座だ。冬期講座は最終確認の場である。それまでに、自分の納得のいく勉強をしておくこと。

① 模試の判定に一喜一憂するな！

記述模試やマーク模試の合否判定に左右されないこと。模試は、あくまで受験した時点での状況である。「自分の弱点やできていない分野を把握するための模試」、「志望校に合格するための対策を立てるための模試」だからこそ、復習することに価値があるのだ。冷静にできていない部分を確認し、学校の教材でいいので復習し強化しておくこと。

② 「健康第一」と考えよ。

体調を崩すと長くて1週間は集中して勉強に取り

うがいをしよう



組めなくなってしまう。この口スを考えれば、睡眠時間を5~6時間は確保し、体調管理を優先させることも大切だ。無理な勉強スタイルは、今は控えよう。

③ 併願校も見据えた志望校選択を！

チャレンジ校・実力相応校・安全校

の3本柱で志望校を検討する。

最終的な第一志望校としての「チャレンジ校」、現段階の実力と受験までの伸びしろを考慮して合格に近いと思われる「実力相応校」、現時点の学力から考えて十分に合格できる「安全校」といった形で検討する。学力だけではなく、学部系統や進学地域についても考慮し、あらゆる事態に備えた道筋をあらかじめ立てておけば、受験勉強に集中することができる。

④ 具体的な短期目標を設定し、達成する

苦手科目こそ、総合点アップの宝庫と考えよ。

80点を100点にするより、40点を60点にする方が目指しやすい。模試の判定で、B判定の得点まで

は、具体的に何の科目で何点アップさせればいいのかをチェックする。そして、そのために何をいつまでにやるかを決めて実行する。この小さいステップの積み重ねが今の時期は大切だ！

入試を決する科目の強化を図れ

志望校の入試科目の中でも、センター試験や個別学力検査（2次試験）の配点で、特にウエイトが高い科目があるはず。それらは、入試の際に大学が重要視している科目なので、力を入れて学習する必要がある。例えば、センター試験で100点満点の理科や地歴・公民の1次配点が200点になっていれば、1点が2倍の重さを持つ。このような情報からどの科目の強化を図ることが最優先かが決まってくる。



ここでも PLAN→DO→CHECK の実行だ。

⑤ 自習室を勉強の場とし、

お互い向上しあおう。

同じ「志望校合格」という目標を持つ者同士、励ましあいながら受験勉強できるのは素晴らしいことだ。お互い切磋琢磨しながら目標を達成する。

⑥ 塾の冬期講座を最優先する

冬休みになると、高校でセンターの予行演習を行う。本番と同じ日程・時間で行うものだ。時間を決めて取り組むことは意義のあることだが、解説授業はない。冬期講座では、最重要ポイントを解説するので塾の講座を最優先すること。参加出来なかった科目については、家で時間を計ってやればよい。



